

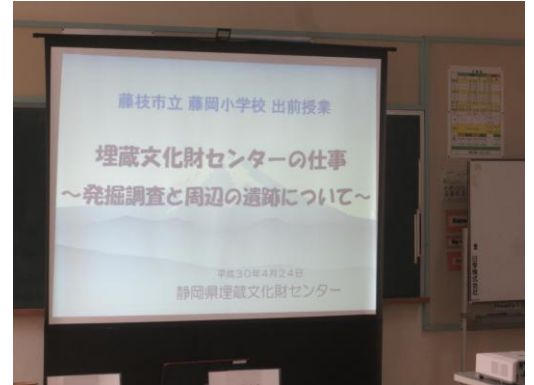
藤枝市立藤岡小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年4月24日(火)

4月24日(火)、藤枝市立藤岡小学校を訪問し、「発掘調査と学校周辺の遺跡」の解説とともに「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」の古代の人々の体験授業を行いました。

弥生や古墳時代の遺跡が学校のすぐ近くにあることに驚いたばかりでなく、本物の土器を目の前にして、さらに驚き、興味津々、誰もが目を輝かせて取り組んでいました。この授業を機会に古代の人々の暮らしや歴史に興味関心をよせ、学習に励む姿を期待しています。



◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の本物の土器片を直接手にとって、みんなで相談しながら分類する作業を体験しました。模様や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを本物に触れて確認しながら、土器を分類しました。



◎石器(黒曜石)の試し切り体験



石器(黒曜石)を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚きました。さらに、昔の人々は鋭く尖る石(黒曜石:自然のガラス)を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行って手に入れていたことを知って、さらに驚きました。

